

指定管理者総合評価シート

施設名	守谷市守谷中央公民館		
指定管理者	アクティオ・守谷市シルバー人材センター共同事業体		
指定期間	令和2年度 ～ 令和6年度	3	年目
施設所管課	教育委員会生涯学習課		

評価項目	評価基準	自己評価	所管課	
I 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制	仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	B	B
		スタッフのシフトは適正であるか（管理部門）	B	B
		スタッフのシフトは適正であるか（現場）	B	B
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	A
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	法令遵守	関係法令等の規定を遵守し、適正な管理を行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		消防機器の点検は定期的に実施されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	B	B
		個人情報保護に関する規程が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられてるか	B	B
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか	B	B
【総括 I】	実施体制に関する評価	B		
指定管理者の自己評価	B：コロナ禍の中、3年目として、いくつかの大きな取り組みを行うことができた。そのような中であったことにより、工夫と新たな方法により、企画運営ができた。基本的には、利用者の方が気持ちよく利用していただくことを常に考え、職員が同一歩調で進めてきた。協定書の内容を常に確認しながら、100%となるよう進めてきた。			
施設所管課の評価	B：施設・設備の点検、維持管理が徹底されており、不具合等の連絡も早いいため、大事に至らないうちに改善ができた。 開館時・閉館時の館内チェックを徹底し、定期的な巡回が実施できていた。緊急連絡網の整備や緊急時の役割分担を徹底するなど、安全で安心して活用できる施設運営に努めていた。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課	
Ⅱ サービスの 内容や水 準に関 する評 価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	B	B
	利用案内 利用状況	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	B	A
		施設の利用者数は市の期待（または事業計画書に定めた目標）に沿っているか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	B	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	B	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	B	B
		参加促進への取組を積極的に実施しているか	B	B
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか（節電、グリーン製品購入等）	B	B
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
		苦情や要望等に対する処理体制は整えられているか	A	A
	利用者の意見の反映	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させる仕組みはあるか	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか	A	A
		台帳等の記録により備品が適切に保管されているか	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	A	A
		必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A
	【総括Ⅱ】	サービス等の内容や水準に関する評価	B	
	指定管理者の 自己評価	B：利用者の方の安全安心を第一に考え、現状を把握しながら取り組んできた。日常的に環境の整備に取り組んできた。時間の活用を工夫し、より一層高めていきたい。市との連携は密に取り、報告・連絡・相談を行うことができた。		
施設所管課の評価	B：市制20周年の節目に様々な事業を展開した。利用者・市と協働で実行委員会を組織し、「公民館の愛称募集」を行い、87件の応募作品の中から小学校5・6年生の投票により『もりりん』に決定した。中央公民館ホールを活用した著名人によるコンサート及び朗読会の開催により、市民に芸術鑑賞の場を提供し、ホールが満席になったほか、多くの来場者から好評を得た。公共施設予約システム導入に向け、積極的に利用者説明会を開催し、利用者の要望を取り入れたルールを構築し、混乱なくスムーズな導入となった。			

評価項目	評価基準	自己評価	所管課	
Ⅲ 収支等 に関 する評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	A	A
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
		料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
		収支計画と事業計画の整合はとれていたか	B	B
	経費削減	経費削減に向けた取組を積極的に実施したか	B	B
	【総括Ⅲ】	収支等に関する評価	B	
指定管理者の 自己評価	B：経理処理に関しては、内容が適正であることはもちろん、即時性やチェック体制の厳正さを順守して取り組んできた。収支は、その都度確認し、より効率的な物を目指していきたい。			
施設所管課の評価	B：電気料金の高騰が続き、光熱水費が当初予定した額を上回ることが見込まれたが、利用状況に配慮しながら節電・節水に努めるなど、経費削減に向けた取組を行い、見込みよりも大きくオーバーすることはなかった。			

Ⅳ	【総合評価】	I～Ⅲの総括による総合評価	B
---	--------	---------------	---